

“鴨川探検！再発見！” 見・聞・録

～ 第15弾「歴史探訪③三条かいわいと高瀬川」の巻～

“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心を広げるために企画した“鴨川探検！再発見！”のシリーズ第15弾「歴史探訪③三条かいわいと高瀬川」を開催しました。

今回は、豊臣秀次と一族、家臣を供養する瑞泉寺を訪ね、三条河原での悲劇や高瀬川の歴史について勉強しました。高瀬川源流庭園（角倉了以の別邸跡）や、佐久間象山・大村益次郎の石碑も見てきました。

●事前学習



瑞泉寺に集合



中川龍晃住職から、角倉了以によって太閤秀吉の甥、豊臣秀次とその一族を弔うために建立されたお寺であることを学びました。



勝矢先生から、角倉了以が開削した高瀬川の歴史と役割を学びました。

●探検に出発



最初にお堂にお参りました。



豊臣秀次のお墓



さあ、出発！！



高瀬川



高瀬川源流庭園（現在、「がんこ高瀬川二条苑」）を散策したよ。



みそそぎ川から高瀬川が分かれるのを見たよ。



佐久間象山の石碑

昔の川への苦勞や怖かったことなど、いろんな歴史を学んだよ。もっと、川について知りたいな。お話していただいた「瑞泉寺の中川龍晃住職」、見学させていただいた「がんこ高瀬川二条苑」、ありがとうございました。

日 時：平成21年7月26日（日曜日） 午前10時から12時まで（天候 曇り、雨）

場 所：瑞泉寺（鴨川三条）、高瀬川（三条から二条）

参加者：子ども（小学生）7名、保護者8名の計15名

（講師：京都産業大学理学部教授 勝矢淳雄先生）